

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	ひだ清見イベント開催事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	積極的な観光資源策を実施します ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
	課			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	清見支所 基盤産業課	内線 3231		項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	4,500 千円			
				目	1	観光振興費		D	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント来場者	どうしたい のか (意図)	・地域内の組織する各種団体が実行委員となり、地域主導のイベントにより町の活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・夏 夏祭り(盆踊り) ・秋 紅葉まつり(牛の丸焼き、飲食バザー、クラフト展)
	対象者数	12,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・夏祭り 800人 ・紅葉まつり 10,500人							
成果 面	活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		①イベント回数	回	目標値	3	2	2	2
	算出根拠等		実績値	3	2			
	達成率(%)		100	100				
	成果 指標	②来場者数	人	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000
		算出根拠等		実績値	10,300	11,300		
	達成率(%)		86	94				
	成果 指標	①観客動員前年比	%	目標値	104	97	110	110
		算出根拠等	実来場者数/目標数値(前年来場者数)	実績値	97	110		
	達成率(%)		93	113				
	補 足			目標値				
		算出根拠等		実績値				
	達成率(%)							
				目標値				
算出根拠等			実績値					
達成率(%)								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域内の各種団体がイベントに対する目的意識を明確にし、イベントの企画を進め、住民へ周知することで更に地域産業の活性化に繋げる。
---------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・清見の特色を活かすイベントとして誘客増加と飛騨牛を核とし、地域産業の活性化を図る。実行委員会組織はイベントに対する目的、テーマを掲げ市のイベントとして位置づけとなるよう方針を定める。 ・観光PRとして清見のイメージキャラクターを製作しイベント会場を盛り上げる。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	観光協会と地域団体が連携し、観光資源・地域産業を合わせた特色あるイベントを企画し誘客に結びつける必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。	
拡大		
縮小		
廃止検討		

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	5,300	4,987	4,900	4,370
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	515	441	408	364
	受益者	イベント来場者	(B)	10,300	11,300	12,000

## 5 予算編成(Action2)

事業 内 容	清見地域の産業・文化及び地域資源を活用したイベントを開催し、地域のPRと誘客を図り、地域産業の活性化に繋げる。 夏まつり(8月) 紅葉まつり(10月)	要 求 の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	支 所	観光協会及び各種団体の連携が必要であり、実行委員会組織の自主的な運営を更に活性化させる必要がある。	観 光 課	地域振興特別予算が平成26年度までの限定的制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直し、実施に努めること。	地 域 政 策 課	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続については、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。
--------------	---	---------------------------------	-----------------------------	--------	---	-------------	---	-----------------------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,900	4,370	△ 530	4,400	4,400	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	4,900	4,370	△ 530	4,400	4,400		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	せせらぎ街道 キャンペーン推進事業	内線	3232	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
	○ B						一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	清見支所 基盤産業課				目 2	観光費	○ C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	800 千円			
					目 1	観光振興費	○ D	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見町住民	どうしたい のか (意図)	自然景観を維持し、観光資源として活用し、せせらぎ街道を魅力あふれる街道として利用者の増を回り、地域を活性化させる。	概要	事業の実施 手法(手段)	せせらぎ街道を愛する会を通じて、せせらぎ街道を利用してもらうためのキャンペーン・写真コンテストや、自然景観維持のために、草刈や植樹などを郡上市と連携して実施する。
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	街道沿線清掃、植樹作業などの景観保全の取り組みを行い、せせらぎ街道の横断幕の設置などによるPR活動の実施。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	事業実施数(せせらぎ街道を愛する会事業実績)	回	目標値	11	11	11	11
成果指標	せせらぎ街道入込客数(道の駅バスカル清見、ウッドフォーラム飛騨入込数)	人	実績値	11	12		
	算出根拠等		達成率(%)	100	109		
成果指標	入込客数前年比(道の駅バスカル清見、ウッドフォーラム飛騨入込数)	%	目標値	170,000	180,000	180,000	180,000
	算出根拠等		実績値	178,692	168,070		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	105	93		
	当該年度入込客数/前年度入込客数		目標値	97	111	94	
補足	算出根拠等		実績値	111	94		
	達成率(%)		目標値	114	85		
補足	算出根拠等		実績値				
	達成率(%)		目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
	達成率(%)		目標値				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	今後も引き続き「せせらぎ街道」が、魅力あふれる街道となるよう景観保全などの事業を行って行く必要がある。
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	10月の紅葉シーズンに併せてのクリーンアップ作戦などにより自然景観の維持を図っていく。	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善	「岐阜県のじまんの原石」に認定されたことから、今後は「明日の宝物」になるようせせらぎ街道を愛する会並びに郡上市と連携して、せせらぎ街道の価値を高めていく。
	○ 縮小	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善	・特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。
	○ 縮小	
次年度の実 施方針	○ 廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	800	800	800
受 益 者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	304	307	308
	清見町住民	(B)	2,631	2,609	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	せせらぎ街道を愛する会が実施する街道沿線清掃、植樹作業などへの負担金	要求の ポイント	せせらぎ街道を愛する会への負担金	事業 実施の 課題	支 所	飛騨美濃せせらぎ街道が、平成23年2月に岐阜県のじまんの原石に認定されたことにより、今後、郡上市と連携し、岐阜県の「明日の宝物」になるようせせらぎ街道の価値を高めていく必要がある。	観 光 課	せせらぎ街道が「岐阜県の明日の宝物」となるよう、郡上市との連携を強化し、価値を高めていくこと。	地 域 政 策 課	主催する民間の関連団体と、行政の役割分担を明確にする必要がある。
------	------------------------------------	-------------	------------------	-----------------	--------	--	-------------	---	-----------------------	----------------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	800	800	0	800	800	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	800	800	0	800	800		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	内線	3212	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	5 医療・福祉を充実させます ・地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。
	〇						B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 地域振興課				目 3		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	420 千円		
					目 3		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか (意図)	・地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進	概要	事業の実施 手法(手段)	・高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	10,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。						
成果面	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,500	10,000	10,000
		実績値	10,405	9,796				
	算出根拠等		達成率(%)	99	93			
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	150	143	139
		実績値	150	143				
	算出根拠等		達成率(%)	100	95			
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	42	43	40	40
		実績値	42	39				
	算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	99	91			
	活動指標			目標値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	活動指標			目標値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果指標			目標値				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりを深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。
---------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。
次年度 の実施 方針	〇 維持・改善	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
〇 維持・改善	拡大	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討が必要がある。
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	553	571	569
	受益者	清見区会員(4月1日現在)	(B)	759	735

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求の ポイント	・各地区老人クラブ事務局人件費	事業 実施 の 課題	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。	高 年 介 護 課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。	地 域 政 策 課	・支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。
------	--	-------------	-----------------	---------------------	---	-----------------------	---	-----------------------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
財 源 内 訳	歳出(千円)	420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部調整のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的な コミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
	7			土木費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 基盤産業課	内線 3242	目	2	道路橋梁費	1	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	12,000	千円	
				1	道路橋梁総務費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内に残る民地の地権者	どうしたい のか (意図)	市道の未登記路線の整理により、所有権主張によるトラブルを解消し、適正な道路管理を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	158 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1路線の登記完了。</li> <li>・3路線の測量を行い、H24年度に立会い・登記できるよう地権者への説明を行った。</li> </ul>							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	対象路線数	本	目標値	12	10	8	6
				実績値	2	2		
	算出根拠等			達成率(%)	17	20		
	成果 指標	使用承諾済筆数	筆	目標値	96	74	60	50
				実績値	22	14		
	算出根拠等			達成率(%)	23	19		
	成果 指標	登記済筆数	筆	目標値	226	204	174	154
				実績値	22	30		
	算出根拠等			達成率(%)	10	15		
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者不明や市外の所有者のため境界立会いができない</li> <li>・所有者からの寄付がもらえない</li> <li>・字絵図と現地と整合できない</li> </ul>
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未登記路線の早期解消を進めるにあたり、地権者への説明・寄付のお願いをし、立会い・登記を進める。</li> </ul>	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要路線の未登記処理を早期に解消できるよう取り組んで行く必要がある。</li> </ul>
	○ 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	6,751	7,195	8,000	12,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	204,576	239,833	266,667	400,000
	受益者 使用承諾済人数	(B)	33	30	30	30

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求の ポイント	事業 実施の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持課 世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、未登記路線の解消を進めること。</li> <li>地域 政策 課 積極的に事業を推進すること</li> </ul>
------	------------------	-------------	-----------------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,000	12,000	4,000	12,000	12,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	8,000	12,000	4,000	12,000	12,000		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花づくり推進事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、 振興する活動を支援するための 地域振興特別予算を全市域に 拡大し権限と予算の地域移譲を 図ります。
	種別			9	教育費		○	B				
担当課	清見支所 地域振興課		内線	4	社会教育費	目	C	終期を定めて実施する事業・ 単年度事業	H25計画額	3,300 千円		
	3213	1		社会教育総務費	D		その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見町住民	どうしたい のか (意図)	・地域内の花壇管理を、地域ぐるみで 取り組み、地域全体の景観保全と 地域の絆を深める。	概要	事業の実施 手法(手段)	・町内会単位で、花壇の 植栽及び管理 ・主要幹線道路側花壇の 植栽及び管理
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・町内会等の地区花壇、ロード花壇の花苗の購入及び地域住民等による花壇管理作業の実施					
活動指標	花苗の配布	本	目標値	62,500	62,500	62,500	62,500
	実績値		62,500	62,020			
算出根拠等	達成率(%)	100	99				
活動指標	花壇面積	㎡	目標値	1,875	1,875	1,875	1,875
	実績値		1,875	1,875			
算出根拠等	達成率(%)	100	100				
成果指標	参加世帯数	戸	目標値	810	810	810	810
	実績値		805	805			
算出根拠等	達成率(%)	99	99				
補足			目標値				
	実績値						
算出根拠等	達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域の特性としての「花いっぱい運動」ではあるが、市全体から見た場合に地域住民の花壇管理作業などに参加する活動意識や意欲などを把握する必要がある。
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・国民体育大会の開催をきっかけとして意識や意欲が高まっており、花の品種の限定や多年草を取り入れた先進地事例などを具体的に紹介することで「花いっぱい運動」のあり方を協議、検討	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・幹線道路沿いのロード花壇については、人口減少や高齢化などにより地域ボランティアでの管理は困難な状況である。 ・今後は管理作業縮小のため、多年草を取り入れるなど住民への負担軽減等の工夫を考慮しながら、「花いっぱい運動」事業の継続、管理方法などの見直しを実施
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	3,083	3,028	2,900	2,800	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,172	1,161	1,117	1,078	
	受益者	清見町住民(4月1日現在)	(B)	2,631	2,609	2,597	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	各町内会等が管理する花壇に対する花苗代及び管理等への委託料	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	・地区における花いっぱい運動の継続、管理方法等の見直し。	市民 活動 推進 課	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
						地域 政策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,900	2,800	△100	2,800	2,800	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,900	2,800	△100	2,800	2,800		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	生涯学習作品展及び 芸能発表会助成事業	内線	3213	予 算	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、 振興する活動を支援するための 地域振興特別予算を全市域に 拡大し権限と予算の地域移譲を 図ります。
	款 9 教育費					B 一般予算の上乗せとして実施 されている事業						
担当課	清見支所 地域振興課					項 4 社会教育費		C 終期を定めて実施する事業・ 単年度事業	H25計画額	1,500 千円		
						目 6 文化振興費		D その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたい のか (意図)	・地域に根ざした芸能文化の振興を図ることを目的に、発表の場の提供により活動意欲を高め、世代を交えた多くの住民の交流と文化意識を向上させる。	概要	事業の実施 手法(手段)	・清見地区社会教育推進委員会が実施する地域文化振興事業への助成 ・公民館活動団体や小中学生などの作品展示会及び芸能発表会の開催
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・生涯学習作品展、芸能発表会等を開催						
活動指標	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	作品出展項目	作品	目標値	7	7	7	7	
算出根拠等	実績値	7	10					
算出根拠等	達成率(%)	100	143					
活動指標	活動指標	出演団体数	団体	目標値	10	10	10	10
	算出根拠等	実績値	9	13				
算出根拠等	達成率(%)	90	130					
成果指標	成果指標	作品出展人数	人	目標値	470	470	470	470
	算出根拠等	実績値	430	333				
算出根拠等	達成率(%)	91	71					
成果指標	成果指標	出演人数	人	目標値	150	150	150	150
	算出根拠等	実績値	133	187				
算出根拠等	達成率(%)	89	125					
補足	目標値							
	実績値							
算出根拠等	達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・少子高齢化や後継者不足などから会場設営等が年々困難となると考えられ、次世代育成はもとより、運営方法自体の見直しも必要である。
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	少子高齢化に伴う後継者育成などが作品展や発表会の継続に対して課題であり、各種団体・クラブサークルなどを対象にアンケート調査を実施	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	具体的に運営方法(経費節減への取組み、委託業務の再検討、入場料・出演料の設定、広告宣伝費の募集、パンフレットの有料化など)を見直す
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	1,400	1,150	1,350	1,150	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	532	441	520	443	
	受益者	清見町住民(4月1日現在)	(B)	2,631	2,609	2,597	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・地区社会教育推進委員会が主体となって実施する地域文化事業へ助成する。	要求の ポイント	・文化作品展は、「書道」「生け花」「短歌」「立華」「絵画」「盆栽」や保育園、小中学生などの作品展示 ・芸能発表会は、「舞踊」「大正琴」「カラオケ」「コーラス」「フォークダンス」や小学生の「太鼓」や「合唱」、中学生の「吹奏楽」などの発表会	事業 実施 の 課題	・運営方法の見直しや少子高齢化に伴う後継者育成などを検討する必要がある。	生涯 学習 課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。	地域 政策 課	・同上
------	-------------------------------------	-------------	---	---------------------	--------------------------------------	---------------	---	---------------	-----

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,350	1,150	△ 200	1,150	1,150	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,350	1,150	△ 200	1,150	1,150		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	ひねりの舞、伊勢神楽保存事業	内線	3221	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	歴史文化基本構想、保存活用計画 地域振興	市長 公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ◎美しいふるさとの伝統文化を守り次代に継承します ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値のある有形無形の伝統文化や文化財などの資源を活用するために、美しいふるさと認証制度を創設します。
種別						9 教育費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 地域振興課				項	4 社会教育費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	90 千円			
				目	7 文化財費		D その他事業						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見町牧ヶ洞・上小島住民	どうしたいのか(意図)	・無形民俗文化財の保存と伝承者の育成を行うことにより、伝統芸能の保存と伝承を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・市指定無形文化財となっている「ひねりの舞」と「伊勢神楽」の保存と後継者育成を行っている2つの団体に対し、活動費を助成する。
	対象者数	768 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・市指定無形文化財となっている「ひねりの舞」と「伊勢神楽」の保存と後継者育成が図られた。						
活動指標	補助金の交付額	円	目標値	90,000	90,000	90,000	90,000
	実績値		実績値	90,000	90,000		
成果指標	伝統芸能の奉納回数	回	目標値	1	1	1	1
	実績値		実績値	1	1		
成果指標	保存会会員数(ひねりの舞)	世帯	目標値	14	14	14	14
	実績値		実績値	14	14		
成果指標	保存会会員数(伊勢神楽)	人	目標値	15	15	15	15
	実績値		実績値	15	15		
成果指標			目標値				
	実績値		実績値				
成果指標			目標値				
	実績値		実績値				
補足			目標値				
	実績値		実績値				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・ひねりの舞保存会は、上小島地区の住民により構成されている。ひねりの舞には、子供の芸能が必要であるが、現状の会員では必要な子供の数の確保が困難な状況であり、7年に1度確実に実施できるよう、計画的に後継者が確保できるような保存会の体制づくりが必要であると思われる。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・ひねりの舞については、H26年度に実施できるよう計画的な保存や後継者育成を図る。	
担当課評価	○維持・改善	・郷土の伝統文化を後世に伝えることは、今を生きる者の使命であり、継続的に支援する。
	拡大	
二次評価	○維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	縮小	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	90	90	90	90	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	117	117	117	117	
	受益者	清見町牧ヶ洞、上小島住民	(B)	767	767	768	768

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	各団体の伝承芸能の後継者育成及び保存活動事業に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	文化財課	・民謡などの地域芸能の伝承、後継者の育成は継続的に行うことが大切である。今後も計画的な支援が必要である。
				地域政策課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	90	90	0	90	90	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	90	90	0	90	90		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	天然記念物環境保全事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 ・環境保全の重要性を理解し、みんなでより良い環境を創り上げ、次世代に残すことは私たちの使命であるため、将来を見据えた長期的な周知啓発運動の展開に加え、市内の全ての学校で環境教育を推進します。
			款	9	教育費		○	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課		清見支所 地域振興課	項	4	社会教育費			C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	250 千円		
		内線 3221	目	7	文化財費			D その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見町住民	どうしたいのか(意図)	・市指定天然記念物「小鳥岬ミズバショウを含む湿原植物群」の環境保全対策を地域参加型で実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	・獣害(イノシシ)対策として電気柵を設置する。 ・オオハングソウの抜き取りを実施する。 ・水路に堰を設置し、水位の低下を防ぐ。
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣害(イノシシ)対策として電気柵を設置する。</li> <li>・ミズバショウ・ザゼンソウの個体数調査を実施。</li> <li>・オオハングソウの抜き取り</li> </ul>							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	電気柵の延長	m	目標値		740	950	950
		実績値			740			
	算出根拠等			達成率(%)		100		
	活動指標	電気柵の面積	ha	目標値		2	2	2
		実績値			2			
	算出根拠等			達成率(%)		100		
	活動指標	湿原植物保護活動	回	目標値	2	2	2	2
		実績値		2	3			
	算出根拠等			達成率(%)	100	150		
	活動指標	水路堰の設置	箇所	目標値			4	4
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果指標	被害の減少率	%	目標値		18	10	10
実績値				18				
算出根拠等		被害面積/全面積	達成率(%)		100			
補足			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
・電気柵は湿原の全てを囲ったものではないため、被害面積が0にはならない。								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単年度や2・3年で目に見える効果が表れるものではないため、今後も継続し5年10年先に検証する必要がある。また、湿原内のオオハングソウの抜き取りを行っても、周辺の道路法面や、湿原の下流部、国道の向かい側に群生地があるため、周辺の除去等の対策も同時に往なくては根本的な解決にならない。</li> <li>また、水路の洗堀は場所により深さが違うため、堰の工法についても検討する必要がある。</li> </ul>
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の土地所有者にもオオハングソウ除去の協力を求めていく。また、水路堰においては、効果的に設けることが必要なため有識者に現場を見てもらい設置個所について意見をいただく。</li> </ul>	
次年度の 実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単年度に事業効果が表れないため、今後も継続して電気柵、水路の堰の設置及びオオハングソウの抜き取りを実施していく。</li> </ul>
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市指定天然記念物保護に対し、市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。</li> </ul>	
○拡大		
○縮小		
○廃止検討		

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	177	920	1,430	1,800
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	67	353	551	693
	受益者	清見町住民(4月1日現在)	(B)	2,631	2,609	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天然記念物主要個所の草刈りボランティアへ草刈刃を支給する。</li> <li>・特定外来種オオハングソウの除去作業を委託する。</li> <li>・獣害から保護するための電気柵設置及び管理を委託する。</li> <li>・鹿の侵入状況、食害実態調査を委託する。</li> <li>・水路の洗堀防止及び乾燥帯の水位確保のため、水路に堰を設置する。</li> <li>・湿原下流部の道路横断排水部からの水(特に集中豪雨時)により、湿原の一部が大きく洗堀されてきているので、洗堀拡大防止のためフロン箱を設置する。</li> </ul>	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気柵により、イノシシの侵入を抑制できることは昨年設置してから実証されており、引き続き設置することとするが、今年度一部、鹿の食害があったことから、今後、鹿の進入が多くなれば、柵の高さを上げる必要がある。</li> <li>また、水路については、水位が上昇しても、2・3年で結果が現れるものではなく、実証には数年かかるため、長期的に検証していかなければならない。</li> </ul>	事業 実施 の 課題	文化 財 課	・天然記念物の保護、育成は継続的に行うことが大切である。今後も地域と連携し計画的な事業実施が必要である。
					地域 政 策 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,430	1,800	370	1,740	1,740	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	1,430	1,800	370	1,740	1,740		



# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別予算を全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 地域振興課	内線 3213		項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	380 千円		
				目	1	体育総務費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見町住民	どうしたい のか (意図)	・スポーツ大会等を通じて健康増進を図ることと老若男女を問わず地域住民間の交流を深める。	概要	事業の実施 手法(手段)	・清見地区社会教育推進委員会が実施する体育振興事業への助成
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・ソフトボール、軟式野球、ソフトバレーボール、新春マラソン、剣道、卓球、スキーなどのスポーツ大会を開催							
成果 面	活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		大会数	回	目標値	8	8	8	8
		算出根拠等		実績値	8	7		
				達成率(%)	100	88		
	成果 指標	参加人数	人	目標値	800	800	800	800
		算出根拠等		実績値	726	593		
				達成率(%)	91	74		
	成果 面			目標値				
		算出根拠等		実績値				
				達成率(%)				
	成果 面			目標値				
		算出根拠等		実績値				
				達成率(%)				
	成果 面			目標値				
		算出根拠等		実績値				
				達成率(%)				
補 足			目標値					
	算出根拠等		実績値					
			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市民ニーズに応えられるスポーツ大会等を計画し、それを通じて地域住民のつながりと交流の場となるように実施する。
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・地区社会教育推進委員会が中心となって、スポーツ大会等の種目の必要性や地域住民参加の意向などのアンケート調査を実施	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・スポーツ大会等の種目の必要性や地域住民参加の意向などのアンケート調査により、今後の事業実施計画の基礎となるように調査分析を実施
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	380	380	380
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	144	146	146
	受益者	清見町住民(4月1日現在)	(B)	2,631	2,609

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	地区社会教育推進委員会が実施する体育振興事業への助成	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	・世代交代による参加人数の減少が見受けられるので、実施種目の検討や大会参加人数増加への取組みが必要である。	ス ポ ー ツ 推 進 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	380	380	0	380	380	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	380	380	0	380	380		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域おこし協力員活用事業	内線	3221	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	12 新しい街づくりを実現するために次のことを市長の基本姿勢とします。 ◎合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
種別					款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所	地域振興課			項	1	総務管理費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	3,000	千円
					目	9	企画費			D	その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見町大原町内会員	どうしたい のか (意図)	・地域力の維持、強化をはかり、地域の担い手となり地域活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・大原地域に地域おこし協力員(1名)を平成23年度より3年間委嘱し、住民と協働で地域力の維持・強化に資する。
	対象者数	90					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・地域おこし協力員を委嘱し、大原地域で受入団体「おっぱら夢組合」と協働により地域活性化につながる活動を実施した。 また、活動時間外においても積極的に町内会等の行事に参加し、地域力の維持・強化に貢献した。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	地域おこし協力員の委嘱人数	人	目標値 実績値		1 1	1 1	1 1
算出根拠等			達成率(%)		100		
活動指標	指標名	単位	目標値		12	12	12
	地域おこし協力員の活動月数	月	実績値		11		
算出根拠等			達成率(%)		92		
活動指標	指標名	単位	目標値		1,968	1,960	1,952
	地域おこし協力員の活動時間	時間	実績値		2,007		
算出根拠等			達成率(%)		102		
成果指標	指標名	単位	目標値		1,332	1,332	2,000
	おっぱら夢組合が実施した体験活動の参加者数	人	実績値	1,332	1,583		
算出根拠等			達成率(%)		119		
成果指標	指標名	単位	目標値		36	36	48
	活動時間外に参加した地域活動への参加	回	実績値		39		
算出根拠等			達成率(%)		108		
補足	指標名		目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・協力員の活動目標の明確化と、受入団体の体制及び地域との連携を強化することが必要である。
---------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	支所は、協力員の活動目標の明確化と、受入団体の体制及び地域との連携を強化するため、支所、受入団体および協力員の三者で定期的にコミュニケーションを図り、協力員の活動が、地域住民の創意工夫による地域づくり活動へつながるよう助言等を行っている。また、協力員の活動終了後、地域への定住・定着を促進できるよう受入団体や町内会と検討している。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	継続して協力員を委嘱する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・活動目標を明確化するとともに活動拠点以外の地域での交流などにより地域との連携を強化する必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	2,294	2,880	2,850
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		25,489	32,000	31,667
	受益者	清見町大原町内会員	(B)	90	90	90

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・継続して地域おこし協力員1名を委嘱する。	要求の ポイント	・委嘱期間は、最終年度の3年目となるため地域活動団体との協働により、グリーンツーリズム等による地域振興を図る。	事業 実施 の 課題	支所 ・委嘱終了後も地域振興活動が継続できるよう、協働組織の強化や持続可能な地域振興策の構築を図る必要がある。	地域 政策 課	・協力員の活動目標の明確化、受入団体の体制及び地域との連携を強化することが必要である。
						地域 政策 課	

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,880	2,850	△ 30	2,800	2,800	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	2,880	2,850	△ 30	2,800	2,800		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	清見地域サクラソウ保護保全事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	8	豊かな自然環境も守り、環境モデル都市をつくります。 ◎市民生活の中に自然環境を活かした街づくりを進めます。 ・環境に対する取り組みを地域の活性化につなげるため、他業種連携による新産業の創出を図ります。
	課			2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 地域振興課	内線	予算	1	総務管理費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円		
				目	18		環境政策費	D				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	個人レベルで自生種の保護が行われているサクラソウ(環境省・岐阜県のレッドデータブックの絶滅危惧種)を将来にわたり保護・保全するため、①自生種の保護等に関する調査研究を行いその希少性を確認し、②市民にサクラソウを軸とした自然生態系を意識した自然保護意識の高揚に努め、③保護活動団体の育成と支援を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	①自生種遺伝子の調査と保護・保全活動の研究(筑波大学との連携) ②保護・保全活動の団体紹介や研究・活動成果を公表する、市民を対象とした講演会の開催 ③保護団体等の育成および支援
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	保護活動団体の支援(講演会の実施、保護保全の研究)						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	保護活動の意識啓発活動	回	目標値 実績値		1 1	2 /	2 /
算出根拠等	観察会、講演会等の開催		達成率(%)		100	/	/
活動指標	保護活動団体の育成と支援	団体	目標値 実績値			1 /	1 /
	算出根拠等	保護活動団体数	達成率(%)			/	/
成果指標	品種(遺伝的に異なる個体)の保全	個体	目標値 実績値			10 /	10 /
	算出根拠等	筑波大学のDNA鑑定による	達成率(%)			/	/
成果指標	保護団体の会員数	人	目標値 実績値			5 /	10 /
	算出根拠等	会員数の合計	達成率(%)			/	/
補足			目標値 実績値			/	/
	算出根拠等		達成率(%)			/	/

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の 実施方針	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	380
	受益者1件当たり(円)	(A/B)				146
	受益者	清見地域住民	(B)	0	0	0

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	サクラソウ研究のトップ機関である筑波大学と連携し、市民レベルでの保護・保全を推進するとともに、サクラソウという個体の保護だけでなく、生育環境(生態系)を意識した自然保護を推進する。	要求のポイント	・自生種遺伝子の調査と保護・保全活動の研究(筑波大学との連携) ・講演会の開催 ・サクラソウ保護団体等の育成および支援	事業実施の課題	支所 保護地区に指定している市内他地域と連携し、地域の活性化につながる保全活動になるよう調整を図る必要がある。	環境政策課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
						地域政策課	実施による効果の検証が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	380	380	400	400	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金				0			
県支出金				0			
一般財源	0	380	380	400	400		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	体験施設改修事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺自然観光や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別				款	5	農林水産費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	3232	項	1	農業費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円	
		目	3	農業振興費		D	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	体験施設利用者	どうしたいのか(意図)	体験施設(おっぱら自然体験センター・すのまたふるさと学校・すのまた野外研修施設・里人学校)の施設利用者ニーズに対応した施設管理。	概要	事業の実施手法(手段)	体験施設(おっぱら自然体験センター・すのまたふるさと学校・すのまた野外研修施設・里人学校)の施設修繕。
	対象者数	9,951 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
成果指標	体験施設(おっぱら自然体験センター、すのまたふるさと学校、すのまた野外研修施設、里人学校)利用者数	人	目標値		9,732	9,951	10,000	10,000
	算出根拠等		実績値					
				達成率(%)				
活動指標	洋式トイレ数	基	目標値					7
	算出根拠等		実績値					
				達成率(%)				
成果面			目標値					
	算出根拠等		実績値					
				達成率(%)				
			目標値					
	算出根拠等		実績値					
				達成率(%)				
補足			目標値					
	算出根拠等		実績値					
				達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の実施方針	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	4,540
受益者1件当たり(円)	(A/B)				456
受益者	体験施設利用者 (B)				9,951

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・体験施設(すのまたふるさと学校・すのまた野外研修施設、里人学校)の経年劣化による施設修繕	要求のポイント	すのまたふるさと学校、公衆トイレ ・洋式トイレへの一部改修 すのまた野外研修施設 ・屋根塗装改修工事 里人学校 ・外壁塗装工事	事業実施の課題	支所 ・施設利用者のニーズに対応した施設管理が必要である。	農務課	・施設利用率向上のため、利用者のニーズに対応した施設管理が必要である。
					地域政策課	・実施による効果を検証するとともに、施設の利用者増に組み込むことが必要。	

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	4,540	4,540	4,500	4,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	4,540	4,540	4,500	4,500		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	商工施設整備事業	内線	3231	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	10 市民のための行政改革を断行します ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します。 ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。
	6 商工費					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課				項目	1 商工費	○	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円	
						1 地域商工振興事業費		D その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	施設来場者	どうしたいのか(意図)	商工施設備品は20年を経過するものが多く器具等に老朽化が見られ更新する。	概要	事業の実施手法(手段)	老朽化する施設の修繕と器具等を更新する。
	対象者数	484,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	ウッドフォーラム飛騨公衆トイレ洋式化	算出根拠等	基	目標値				4
				実績値				
				達成率(%)				
活動指標	道の駅バスカル、ななもり清見厨房備品整備	算出根拠等	台	目標値				6
				実績値				
				達成率(%)				
成果指標	ウッドフォーラム飛騨来場者数	算出根拠等	人	目標値	35,000	35,000	35,000	35,000
				実績値	42,732	32,292		
				達成率(%)	122	92		
成果指標	道の駅ななもり清見来場者数	算出根拠等	人	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000
				実績値	285,075	246,411		
				達成率(%)	95	82		
成果指標	道の駅バスカル清見来場者数	算出根拠等	人	目標値	149,000	149,000	149,000	149,000
				実績値	136,422	136,388		
				達成率(%)	92	92		
補足				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	維持・改善
		拡大
	二 次 評 価	縮小
		廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	0	0
受益者1件当たり(円)	(A/B)				8
受益者	施設利用者	(B)			484,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	商工施設のウッドフォーラム飛騨野外公衆トイレは老朽化により修繕し、2つの道の駅器具類については20年経過しており老朽化が見られるため更新する。	要求のポイント	・ウッドフォーラム飛騨野外公衆トイレの洋式化 ・道の駅バスカル清見、ななもり清見の厨房備品の更新	事業実施の課題	支所 施設利用者のニーズに対応した施設管理が必要であり、施設及び器具類の老朽化が進んでいることから、今後も計画的な更新が必要である。	商工課	施設及び備品の更新については、計画的に実施していく必要がある。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	4,000	4,000	4,000	4,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	4,000	4,000	4,000	4,000		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	清見グリーンツーリズム推進事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
	種 目			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課	内 線	3231	項	2	観光費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千 円		
				目	1	観光振興費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	グリーンツーリズム参加者	どうしたいのか(意図)	・既存の体験施設(おっぱら自然体験センター、すのまたふるさと学校、清見里人学校)と連携したグリーンツーリズムの推進	概要	事業の実施手法(手段)	・ひだ清見グリーンツーリズム推進協議会を中心としたグリーンツーリズムPRの実施や生活環境保全林「小鳥の郷」の活用についての現地調査の実施
	対象者数	10,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・ひだ清見グリーンツーリズム推進協議会を設立し、地域の自然を活かしたグリーンツーリズムの推進が図られた						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	既存体験施設のための啓発等活動回数	回	目標値		4	1	1
	実績値			4			
	算出根拠等		達成率(%)		100		
成果指標	グリーンツーリズム参加者	人	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
	実績値			9,317	8,695		
	算出根拠等		達成率(%)	93	87		
成果面			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・冬期間等閑散期における体験メニューの検討や各季節におけるメニューを充実し年間を通したグリーンツーリズムの推進を図る ・地域資源発掘のため、生活環境保全林「小鳥の郷」の活用について現地調査を実施する
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・「小鳥の郷」の活用法について、自然体験エリア、原生林保護エリアなどの区域を明確化しグリーンツーリズム推進を図る
担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 ○ 縮小 廃止検討
コスト面	・特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	0	430	100	350	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	49	10	35	
	受益者	グリーンツーリズム参加者	(B)	9,317	8,695	10,000	10,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	要求のポイント	事業実施の課題	観光課	ふるさと体験飛騨高山の事業と重複しないよう事業内容の精査をすること。また、市以外の構成団体の負担割合等について明確にしておくこと。
清見町内の既存体験施設(おっぱら自然体験センター、すのまたふるさと学校、清見里人学校)が、連携し清見地域におけるグリーンツーリズム活動の推進を図る。	①体験メニューの充実(資源活用企画、モニター行事による検証等) ②指導者等関係者のスキルアップ・情報交換(指導者研修会) ③グリーンツーリズム活動の効果的な情報発信と普及啓発活動(集客のための情報誌への掲載と活動紹介パンフレット等の作成)	環境教育や自然体験学習への市民ニーズは高まっており、各施設の利用者は年々増加傾向にある。今後、各施設の連携を強化し地域の自然を活かした体験型観光のPR等を実施し、より一層の利用拡大を図る必要がある。	地域政策課	主催する民間の関連団体と、行政の役割分担を明確にする必要がある。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	100	350	250	350	350	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	100	350	250	350	350		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	ひだ清見お祭りキャンペーン事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します。 1 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
	款			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課	内線 3232		項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	3,500 千円		
				目	1	観光振興費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川・清見住民	どうしたい のか (意図)	・荘川地域と連携して、せせらぎ街道・やまびこ街道・さくら街道の利用者増を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・荘川・清見観光客誘致推進協議会を核にキャンペーンの実施・誘客パンフレットの印刷等を行う。
	対象者数	3,894 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・周遊マップの印刷 ・誘客キャンペーンの実施(平成24年3月) ・交通量調査の実施						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	お祭りマップ配布枚数(荘川清見周遊マップ配布枚数)	枚	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績値	10,000	10,000		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
成果 指標	清見町入込客数(道の駅バスカル清見・ウッドフォーラム飛騨・道の駅ななもり清見入込客数)	人	目標値	460,000	470,000	480,000	480,000
			実績値	465,784	428,912		
算出根拠等			達成率(%)	101	91		
成果 指標	入込客数前年比(道の駅バスカル清見・ウッドフォーラム飛騨・道の駅ななもり清見入込客数)	%	目標値	101	102	92	92
			実績値	102	92		
算出根拠等			達成率(%)	101	90		
成果 指標	当該年度入込客数/前年度入込客数		目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補 足			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・平成21年度より実施した交通量調査などを今後の事業に活かす必要がある。
---------------------	--------------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・今年度実施する誘客キャンペーン事業内容に、交通量調査分析結果を有効活用する取り組みを実施する。	
担当 課 評 価	○維持・改善	・実施した交通量調査や分析結果を有効に活用し、北陸地域からの誘客に向けた具体的な取り組みを実施する。
	拡大	
次 年 度 の 実 施 方 針	○維持・改善	・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与及び負担金を段階的に縮小していく必要がある。
	縮小	
○維持・改善		
○縮小		
廃止検討		

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,975	3,473	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	758	891	257	257
	受益者	(B)	3,925	3,896	3,894	3,894

## 5 予算編成(Action2)

事業 内 容	荘川・清見観光客誘致推進協議会負担金	要 求 の ポ イ ン ト	荘川・清見観光客誘致推進協議会負担金 ①周遊マップの増刷 ②観光パンフレットの増刷 ③観光キャンペーンの実施	事 業 実 施 の 課 題	支 所	平成21年度より実施した交通量調査を有効活用し、キャンペーン等の事業を実施する必要がある。	観 光 課	両地域の文化、伝統や特徴を相互に理解し、連携の強化を図り、誘客PRを実施すること。	地 域 政 策 課	事業効果の詳細な分析と今後の取り組みへの反映が必要である。
--------------	--------------------	---------------------------------	---	---------------------------------	--------	---	-------------	---	-----------------------	-------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	73199	河川整備対応事業	内線	3231	特別 予算の 位置 付け	会計	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、 安心して暮らせる地域を築くため、 地域の自主的なコミュニティ活動や 環境整備事業の予算枠を確保します。
種別						款	7	土木費	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	清見支所基盤産業課	項	3	河川費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円					
		目	1	河川維持費	D	その他事業							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	牧ヶ洞地区住民	どうしたいのか(意図)	豪雨時に頻繁に被害が発生する落差工等を整備し、安全・安心快適に暮らせる地域づくりに繋げる。	概要	事業の実施手法(手段)	普通河川(岩野川)の落差工等の改修工事
	対象者数	704 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	整備箇所		件	目標値				1
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
活動指標	実施受益者数		人	目標値				704
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
成果面				目標値				
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
補足				目標値				
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の実施方針	二次評価	維持・改善
		拡大
	一次評価	縮小
		廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
歳出(千円)	(A)	0	0	0	4,000	
受益者1件当たり(円)	(A/B)				5,682	
受益者	牧ヶ洞地区住民	(B)	0	0	0	704

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	普通河川(岩野川)の落差工等の改修	要求のポイント	改修箇所の現地を確認し、緊急性を要する箇所から順次実施	事業実施の課題	支所 整備区間が1,420mと長く、数年に及ぶ改修となることから、早期完了を目指す必要がある。 維持課 改良が必要な箇所が多くあり、災害防止の観点から早期完了を目指す必要がある。 地域政策課 計画的に実施することが必要である。
------	-------------------	---------	-----------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	4,000	4,000	4,000	4,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	4,000	4,000	4,000	4,000		



# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	せせらぎ街道スポット整備事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別				7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	予算	4	都市計画費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	10,000 千円		
		3241		7	快適環境整備費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたい のか (意図)	・高山市の玄関口として、道路利用者の増加を図るため沿道の景観保全を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	・高木の枝処理 ・スポット施設の樹木整備
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポット施設の高木枝処理</li> <li>・スポット施設の案内看板補修</li> <li>・こまれば広場の雨水対策</li> </ul>						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	修景整備面積	ha	目標値	6	16	0	0
			実績値	6	16		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
活動指標	高木枝処理本数	本	目標値		30	50	30
			実績値		22		
	算出根拠等		達成率(%)		73		
成果指標	せせらぎ街道利用者数	人	目標値	170,000	180,000	180,000	180,000
			実績値	178,692	168,680		
	算出根拠等		達成率(%)	105	94		
成果指標	利用者数前年比	%	目標値	100	111	94	
			実績値	111	94		
	算出根拠等	当該年度利用者数(実績) / 前年度利用者数(実績)	達成率(%)	111	85		
補足			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・せせらぎ街道は生活道路であるとともに観光道路として重要であるため、ボランティアによる作業や県と連携し景観を維持する必要がある。
---------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・スポットを中心とした高木枝処理を実施する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・せせらぎ街道のスポット施設の現況を把握するとともに、足を止めていただく施設・安全な施設となるよう整備する。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	・県が管理する道路施設の除間伐等については、道路管理者に安全確保の観点から事業実施を要望する必要がある。
拡大		
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,611	3,659	1,000	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,372	1,402	385	193
	受益者	清見町住民	(B)	2,631	2,609	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・沿線の景観スポットの中で、最も立ち寄りやすい西ウレ峠を中心としたスポット整備を実施する。	要求の ポイント	・沿道スポットの立ち枯れ木及び樹木の枝処理	事業 実施の 課題	・事業実施箇所には保安林内の箇所もあるため関係機関と協議の上事業を実施する必要がある。	都 市 整 備 課	・枯れ枝等の処理については、コスト削減の観点から、伐採とする検討も必要である。
						地 域 政 策 課	・樹木等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の観点から全体的な検討、調整が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,000	500	△ 500	500	500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	1,000	500	△ 500	500	500		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	清見民俗資料館修繕整備事業	内線	3221	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約	伝統文化を守り、次代へ継承します。 910 市民のための行政改革を断行します。 ◎将来を見据えて必要な行政改革をすぐに断行します。 ・市の施設や支所の改修を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。
	9 教育費					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 地域振興課		内線	3221	目	7 文化財費	○	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円	
						7 文化財費		D その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見町住民	どうしたい のか (意図)	修繕が必要な清見民俗資料館の施設の修繕を行い、清見地域の貴重な民俗資料を適正に保存する。	概要	事業の実施 手法(手段)	屋根塗装修繕面積 523㎡ 外壁塗装修繕面積 542㎡(板壁239㎡、トタン壁303㎡)
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	平成24年度からの新規事業のため実績なし						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値			523
活動指標	屋根塗装修繕工事	㎡	実績値				
				算出根拠等			
活動指標	外壁塗装修繕面積	㎡	目標値				542
				算出根拠等			
成果指標	民俗資料の適正保管数	点	実績値		5,444	5,444	5,444
				算出根拠等			
成果指標			実績値		5,444		
				算出根拠等			
成果指標			実績値		100		
				算出根拠等			
成果指標			実績値				
				算出根拠等			
補足			実績値				
				算出根拠等			

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根の塗装修繕工事を実施した。</li> <li>・外壁の有効な修繕方法について検討中。</li> </ul>	
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁の老朽化が進んでいるため修繕をおこなう</li> </ul>
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の価値・必要性について再検討する必要がある。</li> </ul>

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	0	0	1,500	2,700	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			578	1,040	
	受益者	清見町住民	(B)	0	0	2,597	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業 内容	経年劣化による施設の外壁塗装の塗替えを行う。	要求の ポイント	修繕が必要な清見民俗資料館の施設の修繕を行い、清見地域の貴重な民俗資料を適正に保存する。	事業 実施の 課題	支 所	貴重な民俗資料を市民に知ってもらうため、文化財課の指導のもと、支所2階ホールに常設している民族資料展示の更新を行う。	文化 財課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗資料の保護の観点から修繕を行い、収蔵庫として利用している。</li> <li>・現在、民俗資料等収蔵品の活用を行っており、今後も必要である。</li> </ul>
							地域 政策 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵の民俗資料の利活用を踏まえた施設の将来的なあり方の検討が必要である。</li> </ul>

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,500	2,700	1,200	2,700	2,700	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,500	2,700	1,200	2,700	2,700		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95299	地域体育施設維持管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画		市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善・振興する活動を支援するための地域振興特別予算を全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。
	番付			9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 地域振興課		内線	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円		
	3213	2		体育施設費	D		その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見住民	どうしたい のか (意図)	快適に使用できる体育施設とし、利用者の増加を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	小鳥グラウンド屋外便所の衛生改善を目的とした水洗化工事 清見高齢者運動広場の雨漏り対策のための屋根改修工事
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	水洗トイレの便器設置数	基	目標値					6
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
成果 指標	小鳥グラウンド利用者数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	
			実績値	2,385	2,315			
			算出根拠等	達成率(%)	119	116		
成果 指標	小鳥グラウンド利用件数	件	目標値	40	40	40	40	
			実績値	42	51			
			算出根拠等	達成率(%)	105	128		
成果 指標			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
成果 指標			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次 年 度 の 実 施 方 針	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	6,500
受益者1件当たり(円)	(A/B)				2,503
受益者	清見町住民 (B)	0	0	0	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	汲り便所の水洗化により、利用者の利便性を図る。	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	冬期閉鎖時における凍結防止等の管理を徹底する。	ス ポ ー ツ 推 進 課	当施設はグラウンド利用者ばかりではなく、里人学校をはじめ自然体験ツアー等、多目的な利用がなされている。 当改修により、当施設の利便性が向上するのみならず、地域振興にもつながるものとする。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	6,500	6,500	6,500	6,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金				0			
	県支出金				0			
	その他				0			
	一般財源	0	6,500	6,500	6,500	6,500		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	新規就農者研修施設管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	産業の柱として農業・林業・畜産を確立します。 3 ・農業を、豊かで広大な自然環境の恵みを活かして、技術と経営の一体的な確立を図り、次世代につながる産業に育てるため人材育成(後継者育成・新規就農者獲得・就農体験・研修制度)、農商工連携による第6次産業化などの施策を、農業従事者の声を聞きながら積極的、かつ合理的に実施する。	
種別				5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課	内線 3232	予算	項	1		農業費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額			200 千円
				目	3		農業振興費	D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	施設利用者	どうしたい のか (意図)	・新規就農希望者に研修施設を提供することで、就農者の増加を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・新規就農者研修施設の維持管理
	対象者数	4 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・新規就農者研修施設の維持管理						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	研修施設入居者数	人	目標値	4	4	4	4
成果指標	算出根拠等		実績値	4	3		
	入居者の遊休農地耕作面積	a	目標値	100	100	100	100
成果面	算出根拠等		実績値	98	55		
	算出根拠等		達成率(%)	100	75		
補足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・施設利用者が、退去後地域内で定住し就農するケースもあるが、施設利用人数は減っているため、施設利用者を増やす取り組みが必要である。
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・施設利用者の退去後、定住促進などを行う。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	施設利用者の人・農地プランの位置づけなどにより、就農者の確保や拡大につとめる
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・効果(施設利用者数に対する就農者数など)について分析し、施設利用者確保や定住促進を進める必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	120	511	200	200
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	30,000	170,333	50,000	50,000
	施設入居者	(B)	4	3	4	4

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	新規に農業を志す研修生の受入施設の維持管理	要求の ポイント	事業 実施の 課題	農務課 ・新規就農者を支援する施設として今後も必要である。 ・就農希望者へ積極的にPRする必要がある。	地域 政策 課 ・移住交流施策に係る関連施設としての位置付けに向けた検討が必要である。
------	-----------------------	-------------	-----------------	---	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	200	200	0	200	200	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	200	200	0	200	200		
一般財源	0	0	0	0	0		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	大原地域活性化事業	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	10 市民のための行政改革を断行します。 ◎将来を見据えて今後必要な行政改革をすぐに断行します。 ・市の施設や支所の改修を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。
			款	6 商工費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課		清見支所 基盤産業課	項	2 観光費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業				
		内線 3231	目	3 観光施設費		D その他事業	H25計画額		千円	

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	大原地区住民	どうしたい のか (意図)	・ホテルバスカル清見の試験的活用と周辺広場の修景。	概要	事業の実施 手法(手段)	・ホテルバスカル清見と大原体験施設との連携により地域全体でグリーンツーリズムを推進する。
	対象者数	86 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・ホテル周辺の景観保全 ・体験館(ホテル隣接)周辺の体験事業						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	①体験館の利用人数(ホテルバスカル清見隣接施設)	人	目標値		90	150	150
	算出根拠等	大原体験施設 自然体験実績	実績値		105		
			達成率(%)		117		
活動指標	②大原体験施設の利用者数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
	算出根拠等	大原体験施設実績	実績値	2,038	2,585		
			達成率(%)	102	129		
成果指標	①大原体験施設の利用前年比	%	目標値	134	237	127	127
	算出根拠等	当該年度利用者数/前年度利用者数	実績値	237	127		
			達成率(%)	177	54		
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・施設周辺の修景について今後も継続するとともに体験館(ホテル隣接施設)を整備し、自然体験事業の充実化が必要となる。
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・ホテル隣接の体験館を使用するとともに道の駅と連携し体験プログラムの拡大とグリーンツーリズムの推進を図る。周辺景観保全については今後も継続する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	ホテル、キャンプ場の再開に向け、計画的な整備を行う必要がある。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・ホテルバスカルの将来的な活用方針を定める必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	0	2,104	1,200	1,640	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		24,465	13,953	19,070	
	受益者	大原地区住民	(B)	0	86	86	86

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	ホテルバスカル清見関連施設の維持管理及び体験事業の実施	要求の ポイント	・芝生広場の草刈り、公園トイレの清掃 ・ホテル内の清掃、ホテル周辺の樹木の選定 ・除雪	事業 実施の 課題	施設全体の稼働に向けて検討していく必要がある。  観光課 大原地域が主体的に取り組むよう方針を検討し、本格利用に結びつけ大原地域の活性化を目指す。  地域 政策 課 大原地域活性化に向けた具体的な振興策・方向性を地域団体及び地域おこし協力員とともに積極的かつ効率的に進めることが必要である。
------	-----------------------------	-------------	---	-----------------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,200	1,640	440	1,200	1,200	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他		65	65				
一般財源	1,200	1,575	375	1,200	1,200		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	幹線道路沿線環境整備事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
	種別			7	土木費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	3241	項	4	都市計画費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,000 千円			
				目	7	快適環境整備費		D	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたい のか (意図)	・清見地内幹線道路の沿道修景事業を実施し、来高者に高山市の玄関口として整備された景観を提供し、気持ちよくドライブを満喫してもらう。	概要	事業の実施 手法(手段)	・清見地内幹線道路の草刈
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・街道沿線の草刈 L=31.7km							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	草刈延長	km	目標値	30	30	31	31
		実績値		30	32			
	算出根拠等 契約延長			達成率(%)	100	106		
	成果 指標	清見町入込客数	人	目標値	460,000	470,000	480,000	480,000
		実績値		465,784	446,016			
	算出根拠等			達成率(%)	101	95		
	成果 指標	入込客数前年比	%	目標値	101	102	96	100
		実績値		102	96			
	算出根拠等 当該年入込客数(実績) / 前年入込客数(実績)			達成率(%)	101	94		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
算出根拠等			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・せせらぎ街道、やまびこ街道、卯の花街道は生活道路であるとともに観光道路として重要であるため、ボランティアによる作業や県と連携し景観を維持する必要がある。
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・県のロードプレーヤー事業、ボランティアと連携し草刈を実施する。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	・高山市の西の玄関口として、道路周辺景観を保全するためにも継続する。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	・県が管理する道路の草刈りは、道路管理者に安全確保の観点から事業実施を要望する必要がある。
拡大		
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,895	1,869	1,700	1,900
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	720	716	655	732
	受益者 清見地域住民	(B)	2,631	2,609	2,597	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・幹線道路沿線草刈業務	要 求 の ポ イ ン ト	・幹線道路沿線の草刈を実施し、西の玄関口として道路周辺景観を整備する。	支 所	・県管理道のため県に事業実施を要望する必要がある。観光道路として重要な路線のため、県との連携をさらに深める必要がある。	都 市 整 備 課	・県が管理する道路沿いの草刈については、県が事業実施するよう要望する必要がある。
						地 域 政 策 課	・同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,700	1,900	200	1,900	1,900	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,700	1,900	200	1,900	1,900		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4 個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するため地域振興特別予算を全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。
種別				2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 地域振興課	内線 3211	予算	1	総務管理費	O	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	4,500 千円		
				9	企画費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民自らが主体となって取り組む地域振興事業を支援する	概要	事業の実施手法(手段)	地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業への補助を行う
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・県道478号線沿い排水路に土砂が堆積しているため、地区住民による土砂排除を行い、機能回復を図る ・老朽化した排水路のU字溝の敷設替えを行い、排水機能の回復による地域整備を図る ・地域資源である猪臥山に方位盤を設置することにより、登山者の利便性を高め地域の活性化を図る ・花壇を掘下げ道路から見やすい高さに変更し老朽化した木枠を更新して沿道景観の保全を図る ・老朽化した河川防護柵を修繕することにより、景観美化と安全性の向上を図る							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	補助金交付件数	件	目標値	13	13	13	13
		算出根拠等		実績値	11	12		
	成果指標	補助金受益対象者	人	目標値	2,631	2,609	2,597	2,597
		算出根拠等		実績値	8,933	4,781		
		算出根拠等		達成率(%)	85	92		
				目標値				
		算出根拠等		実績値				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
			目標値					
	算出根拠等		実績値					
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・人口減少や高齢化等により地域活動が縮小している現状にあって財政支援のニーズは高く、計画的な地域づくりは必要であるが、高齢化によって住民自らが行うことについて出来る事業に限られてきている。特に基盤整備関係については、重機を取り扱う住民がいれば積極的に行えるが、そうでない地域の住民は人力で行うことが多くなり、人足に出る期間も長くなっていくので難しい。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業を町内会からの要望書及び情報連絡並びに各種団体からの要望を精査して実施箇所の現状確認をして選定を行う。 ・町内会等の事情により地域住民の参加が困難な場合(地域の著しい高齢化など)あるかどうか申請時に聞き取りを行い作業等に掛かる経費について補助対象になるか協議する。	
次年度の実施方針	〇維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため町内会等が主体となって取り組む振興事業に対して継続的に実施する。
	〇維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,996	2,718	2,500	3,600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,519	1,042	963	1,386
	受益者	清見地域住民(4月1日)	(B)	2,631	2,609	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	支所	地域政策課	地域政策課
------	---------------------------------------	---------	---------	----	-------	-------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,500	3,600	1,100	3,600	3,600	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	2,500	3,600	1,100	3,600	3,600		

# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 合併後のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域住民から信頼される支所運営を目指し、支所機能の強化をはかるために、権限と予算の再構築を行います。
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	3231	項	1	総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	6,000	千円		
				目	9	企画費	O	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか (意図)	市有施設の軽微な修繕など地域住民の要望に即応し、安全・安心・快適に暮らせる地域づくりに繋げる。	概要	事業の実施 手法(手段)	市道、農道、水路等の市有施設の軽微な修繕を支所長権限で実施。
	対象者数	2,597 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望箇所の現地確認(5月~11月)</li> <li>・市道、農道、林道、排水路の修繕(13箇所)</li> </ul>							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	実施事業	件	目標値	12	10	14	20
				実績値	18	13		
				算出根拠等	事業実績	達成率(%)	150	130
	成果 指標	実施受益者(延べ人数)	人	目標値	2,631	2,609	2,597	2,597
				実績値	5,506	3,702		
				算出根拠等	達成率(%)	209	142	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の要望に対し即対応できる。</li> <li>・市有施設の適正な管理に繋がっている。</li> </ul>							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算内での執行の効率性を高めるためにも、国・県の補助金(農地・水等)を活用し、地域自らが行う事業と市が実施する事業を精査する必要がある。</li> </ul>
---------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各要望箇所の現地を確認し、実施箇所の選定を行う(6月)</li> <li>・緊急性を要するものから順次実施</li> </ul>	
次 年 度 の 実 施 方 針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の要望に即応し、安全・安心に暮らせる地域を構築するためにも事業を継続する。</li> </ul>
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	5,814	4,731	4,100	8,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,210	1,813	1,579	3,080
	受益者	清見地域住民(4/1現在)	(B)	2,631	2,609	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	地 域 政 策 課	地 域 政 策 課
------	--------------	-------------	---------------------	--------	-----------------------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,100	8,000	3,900	8,500	8,500	・配分額の調整	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	4,100	8,000	3,900	8,500	8,500		



# 平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	土地借上料		会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事 ○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業 C 終期を定めて実施する事業・単年度事業 D その他事業	根拠計画		市長 公約
担当課	清見支所 地域振興課 清見支所 基盤産業課	内線 3231	款 項 目				H25計画額	千円	

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	土地所有者	どうしたい のか (意図)	・市施設用地の借地について、市基準値で契約を締結する	概要	事業の実施 手法(手段)	・市の基準単価を上回る土地賃貸借
	対象者数	31 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	公共施設用地の土地借上の契約31件						
活動 指標	借上件数	件	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	算出根拠等	土地賃貸借契約書	目標値	31	31	31	31
成果 指標	借上面積	m2	実績値	31	31		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果 面	目標値		目標値	993,853	993,853	993,853	993,853
	算出根拠等		実績値	993,853	993,853		
補 足	目標値		達成率(%)	100	100		
	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市の基準単価に近づけ借地面積を必要最小限に抑える。
---------------------	----------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・市の基準単価に近づけよう交渉をし理解を求める。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	・市の基準単価に近づけよう交渉をし理解を求める。
	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	5,846	5,885	5,887	5,075
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	188,581	189,839	189,903	163,710
	受益者 土地所有者	(B)	31	31	31	31

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・土地借上料	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	・市の基準に近づけよう単価の交渉が必要	複 数 課	・施設の継続運営のため、市基準での土地借上料に近づけよう単価交渉を継続する必要がある。	地 域 政 策 課	・地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。
------	--------	-------------	---------------------	--------	---------------------	-------------	---	-----------------------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,887	5,075	△ 812	5,075	5,075	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	5,887	5,075	△ 812	5,075	5,075		